

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141

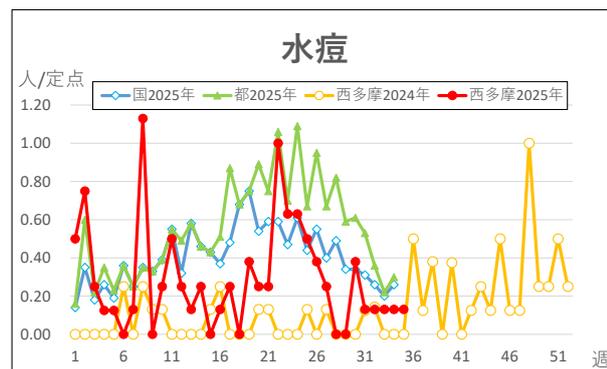
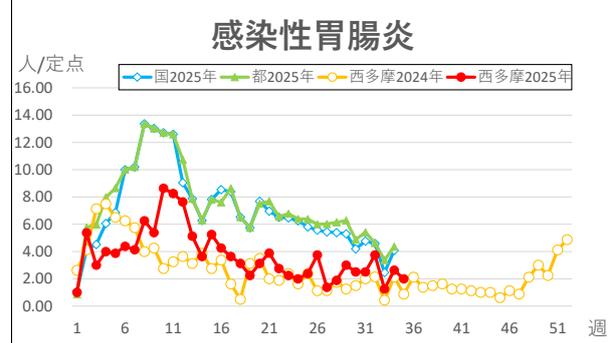
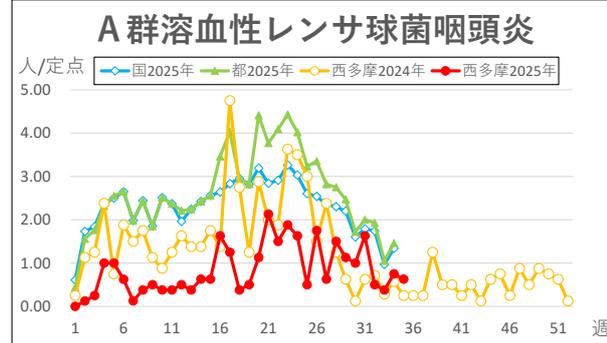
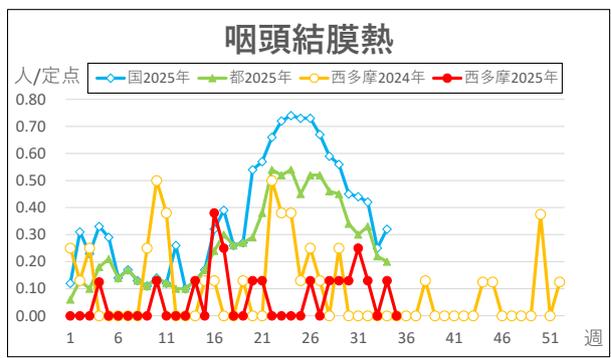
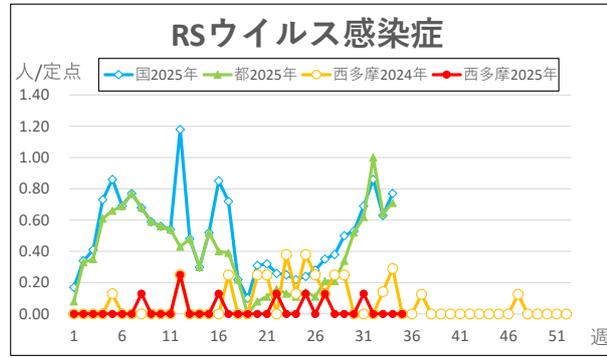
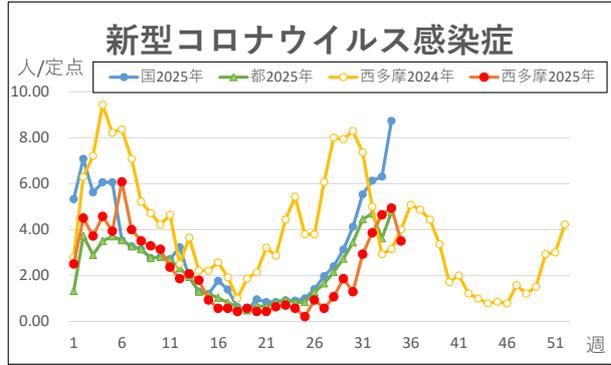
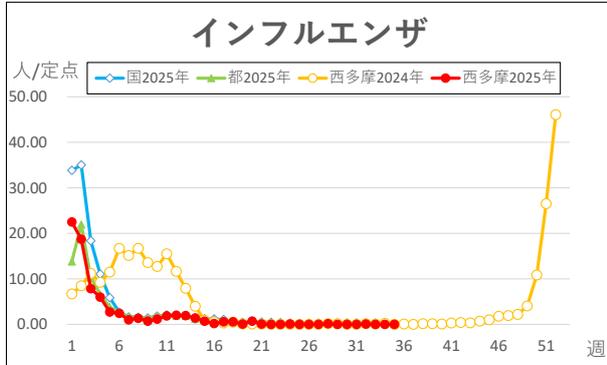


管内の発生動向及び定点把握対象疾患 ()は内訳又は前週値

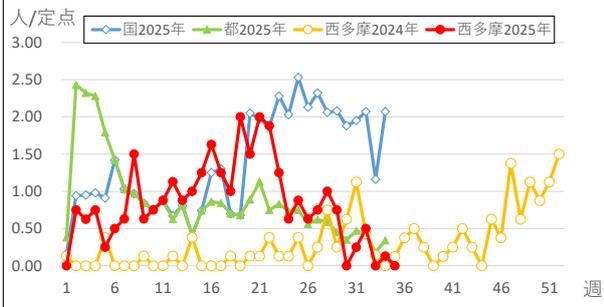
- 全数届出の疾患は、結核2件(50代女性、70代男性)、レジオネラ症1件(60代男性)、百日咳3件(5～9歳女性、10代男性、60代男性)の発生がありました。
- 定点報告は、新型コロナウイルス感染症が多い状況が続いています。

管内の感染症集団発生状況 ()は内訳

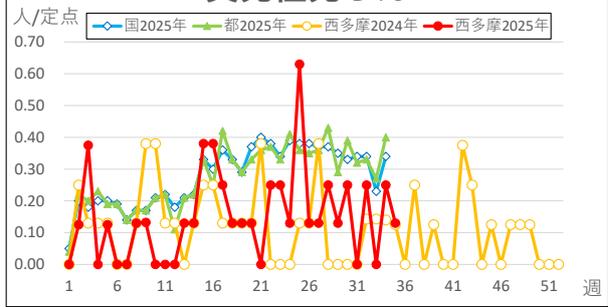
- 新型コロナウイルス感染症1件(高齢者入所施設)の報告がありました。



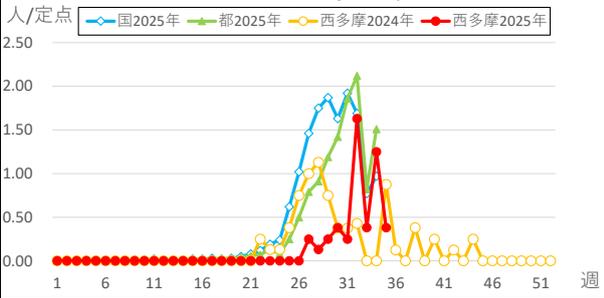
伝染性紅斑



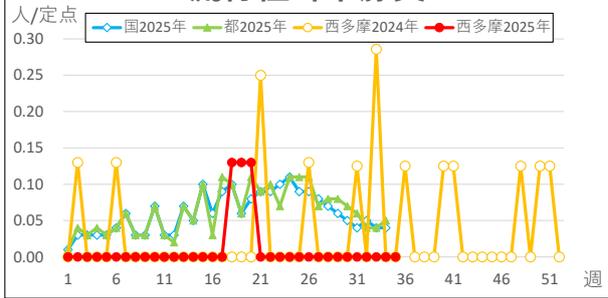
突発性発しん



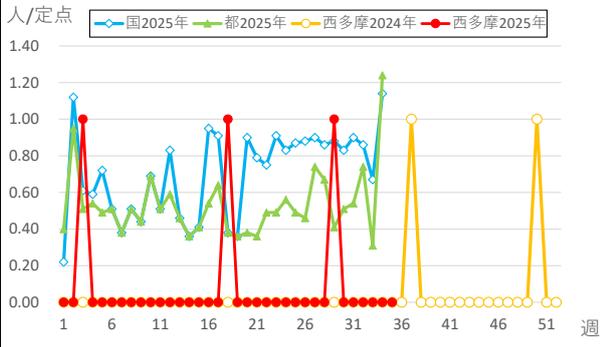
ヘルパンギーナ



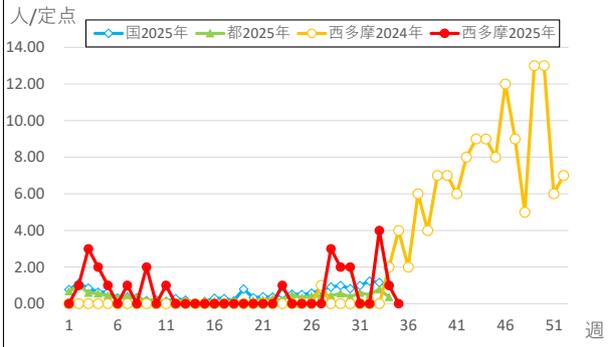
流行性耳下腺炎



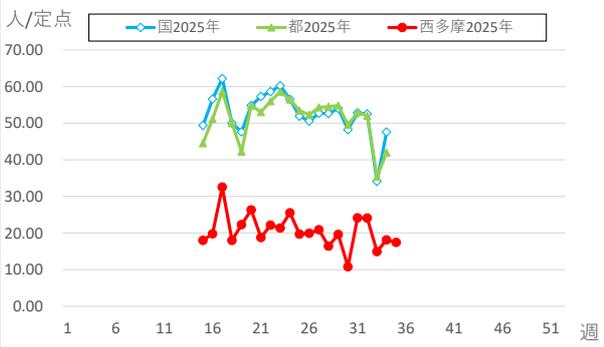
流行性角結膜炎



マイコプラズマ肺炎



急性呼吸器感染症 (ARI)



今週のトピックス

～ SFTS（重症熱性血小板減少症） ～

どんな病気ですか？

- 平成25年に報告されて以降増加し、近年では年間100例を超えています。これまでは、西日本を中心に報告されていましたが、このたび、北海道（札幌市）で初めてSFTSの症例が確認されました。
- 全国の年間の累計報告数は第31週時点で124例（昨年1年間の累計報告数は120例）となっています。
- ダニに咬まれることによって感染するダニ媒介感染症の1つです。ダニによる感染症の多くは、咬まれたあと数日から数週間以内に発熱や頭痛、関節痛、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。SFTSでは、意識障害や出血症状が現れ重症化する場合があります。日本での致死率は25～30%といわれています。潜伏期間は6～14日です。

どのようにうつりますか？

- ダニに咬まれることによって感染しますが、すべてのダニが病原体を持っているわけではありません。

どのように防げますか？

- ダニは人間以外にも野生動物やイヌ、ネコも吸血します。山林などに多く生息し、庭や畑、あぜ道などにもいますので、農作業やハイキングなどで山林に入る場合は、ダニに咬まれないように長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を控えましょう。また、服にダニが付いた場合に確認しやすいよう明るい色の服を着るようにしましょう。

※詳しい情報は下記のサイトを御覧ください。

厚生労働省「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」について

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>

厚生労働省「ダニ媒介感染症啓発ツール」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

東京都感染症情報センター「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」R7.8.29更新

<https://idsc.tmioph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/sfts/>

感染症ひとくち情報（東京都）が更新されました



今週のトピックス ～ 腸管出血性大腸菌感染症 ～

ペロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌による感染症です。発生時期は夏季に多いですが、通年で発生しています。都内での2025年第1週から第34週までの報告数は246件でした。また、昨年より日本人の出国者数が増えており、韓国が国外推定感染地域として多く報告されています。

どうやってうつりますか？

感染経路は経口感染です。菌に汚染された食品などを摂取することにより感染します。ヒトからヒトへの感染は、患者の便や菌のついたものに触れた後、手洗いを十分にできなかった場合などに起こります。



どのような症状が出ますか？

感染すると2～9日ほどの潜伏期を経た後に、激しい腹痛を伴う下痢、続いて血便をおこしますが、症状がなかったり軽い下痢程度の方もいます。乳幼児や高齢者が感染した場合は重症化しやすいといわれています。また、発症後約5%が溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起こすといわれており、時として死亡することもあります。



予防方法はありますか？

汚染食品からの感染が主体であることから、食品を十分加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきるなどの注意が基本です。調理や食事の前には必ず手を洗いましょう。とくに乳幼児、高齢者などは重症事例を防止するため、生肉又は加熱不十分な食肉を食べないように配慮する必要があります。

また、ヒトからヒトへの二次感染を予防するために、食事前、トイレ使用后、排泄介助作業の後などには石けんと流水による手洗いを行うことが必要です。



お知らせ

症状がなく、定期的な検便でみつかるといった場合もありますので、分かった場合はすみやかに保健所へご連絡をお願いします。

※さらに詳しい情報は下記のサイトを御覧ください。

厚生労働省「腸管出血性大腸菌Q&A」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数

	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	1週目からの累計
新型コロナウイルス感染症	15	26	18	41	54	65	69	49	1,023
インフルエンザ	2	0	0	0	1	0	0	0	868
RSウイルス感染症	0	0	0	1	0	0	0	0	8
咽頭結膜熱	1	1	1	2	1	0	1	0	17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	9	8	13	4	3	6	5	227
感染性胃腸炎	15	24	20	20	30	10	21	16	1,013
水痘（みずぼうそう）	0	0	3	1	1	1	1	1	77
手足口病	0	1	1	1	0	0	0	0	20
伝染性紅斑	8	6	0	2	4	0	1	0	231
突発性発疹	2	1	2	0	2	0	2	1	40
ヘルパンギーナ	1	2	3	2	13	3	10	3	30
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0	0	0	0	0	0	0	0	3
流行性角結膜炎	0	1	0	0	0	0	0	0	3

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです、国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
 国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>